教えて 菅田先生!

手足口病・ヘルパンギーナ



Q 手足口病、ヘルパンギーナってどんな感染症ですか？

A 夏季に流行する、エンテロウイルス A-71、コクサッキーウイルス A6，A10，A16 などが引き起こす幼児期の代表的なウイルス性発疹症です。夏季に保育園や幼稚園などで流行します。

Q 症状を教えてください。

A 3～6日の潜伏期をすぎると、ヘルパンギーナの場合は高熱と咽頭痛が出現します。のどの奥の上の方に口内炎が出来るので痛みが強くなることがあります。水分や食べ物が飲み込めず、よだれが多くなることもあります。手足口病の場合は手（手のひら）、足（裏）、唇の周りに触ると固めの水疱ができます。唇の内側に口内炎が出来ることもあります。水疱は、お腹やお尻にも広がることもあります。前述のとおりウイルスには数種類がありますので季節や地域によっては発疹のパターンが異なることがあります。

Q 感染経路は？

A エンテロウイルスの種類は便中に3～6週間も排泄されているので、汚染された環境から口に入る糞口感染が多いです。またウイルスに唾液などを含んだ粒子を吸い込む飛沫感染により伝播します。アルコール消毒の効きにくいウイルスです。

Q 検査・治療法は？

A 診断法は PCR や抗体価測定がありますが限られた施設でしかできません。したがって視診が一般的ですが、口腔内所見や手足の発疹により診断は比較的容易です。しかし発疹が少ない場合には見落とすことがありますので手のひら、足の裏をよく観察してください。発疹の形状は水痘（みずぼうそう）と異なり、固く、水を含んでいる水疱といっても簡単には破れにくいです。特効薬はありませんので症状に応じた治療（対症療法）を行います。口腔内所見が強く咽頭痛や経口摂取不良が著しい場合には点滴治療が必要となります。下記に手足口病とヘルパンギーナ、そして水痘との違いを示します。

	主な症状	部　位
手足口病	水疱（固め）	手・足・口（全部とは限らず）
ヘルパンギーナ	口内炎、発熱	喉の上
水痘（みずぼうそう）	水疱（すぐ破ける）	全身（前髪の生え際にも出る）

Q 予防と対策は？

A 前述のとおり患児の便中にはウイルスが長く排泄されていますので床、椅子、日常的に触れるおもちゃ、手すりなどはこまめに塩素系の消毒剤（アルコールが効きにくいウイルスです）などで消毒しましょう。おむつを替えた後には流水・石鹸による手洗い等の手指衛生をまめに行うことが重要です。

5病棟の生活のひとコマ

5病棟では療育活動の中で散歩、外気浴を実施しています。その日の気温などを見ながら、少しでも外の風にあたり季節感を感じてもらえたらと考えています。外の光を浴びると眩しそうにされる方、空を気持ちよさそうに見上げる方、鳥や虫の声に耳を傾けているかのような表情をされる方…患者さんそれぞれの、いろいろな表情がみられます。

引き続き体調管理に気をつけながら、少しでも気分転換につながるような療育を実施していきたいと思います。

（児童指導員　平田　真理子）

